

都塚古墳(高市郡明日香村)

前方が都塚古墳/方墳/6世紀後半の築造/横穴式石室が開口し、説明坂がある/南側から見たところ



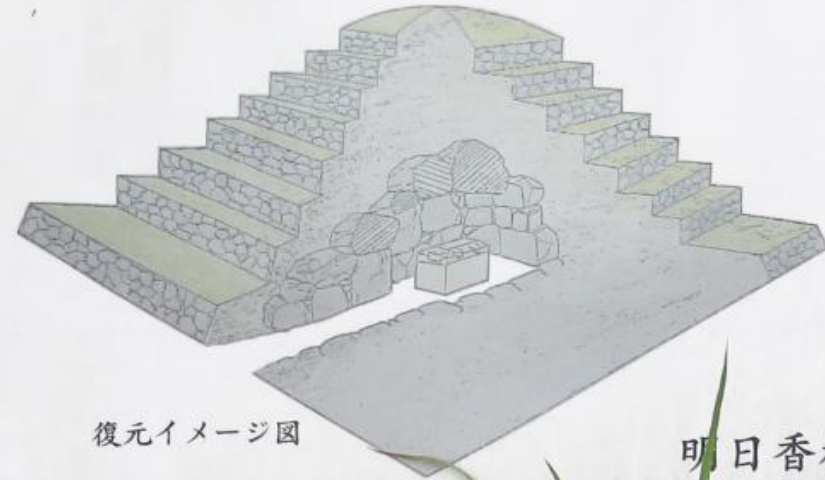
段状の石積みをもつ特殊な構造/高句麗の積石塚などの影響を受けた可能性もあると云う/周溝が巡っている

都塚古墳

Miyakozuka Kofun Tumulus

都塚古墳は、正月元旦に金鳥が鳴く伝承があり、きんちりづか金鳥塚とも呼ばれている。横穴式石室に家形石棺を納めた、6世紀後半の後期古墳である。墳形は東西41m、南北42mの方墳で、1~1.5mの周溝がめぐっている。墳丘は川原石を2~3石積み上げた石段が、少なくとも6段以上あり、非常に特殊な構造をしている。埋葬施設は南西に入口を設けた横穴式石室で、全長12.2mで、玄室の長さ5.3m、幅2.8m、高さ3.55mである。床面にはパラスが敷かれており、暗渠排水溝が設けられている。この中央部に二上山産の凝灰岩で造ったくろみし剝貫式家形石棺がある。石棺の長さ2.23m、幅1.46m、高さ1.72mである。出土遺物には、鉄鍔・刀子・須恵器などがある。

周辺には、石舞台古墳や塚本古墳などの大型方墳があるが、都塚古墳はの中で最も古く位置づけられ、しかも、段状の石積みをもつ特殊な構造をしていることから、飛鳥前史を理解するためにも、重要な古墳といえる。



復元イメージ図

明日香村

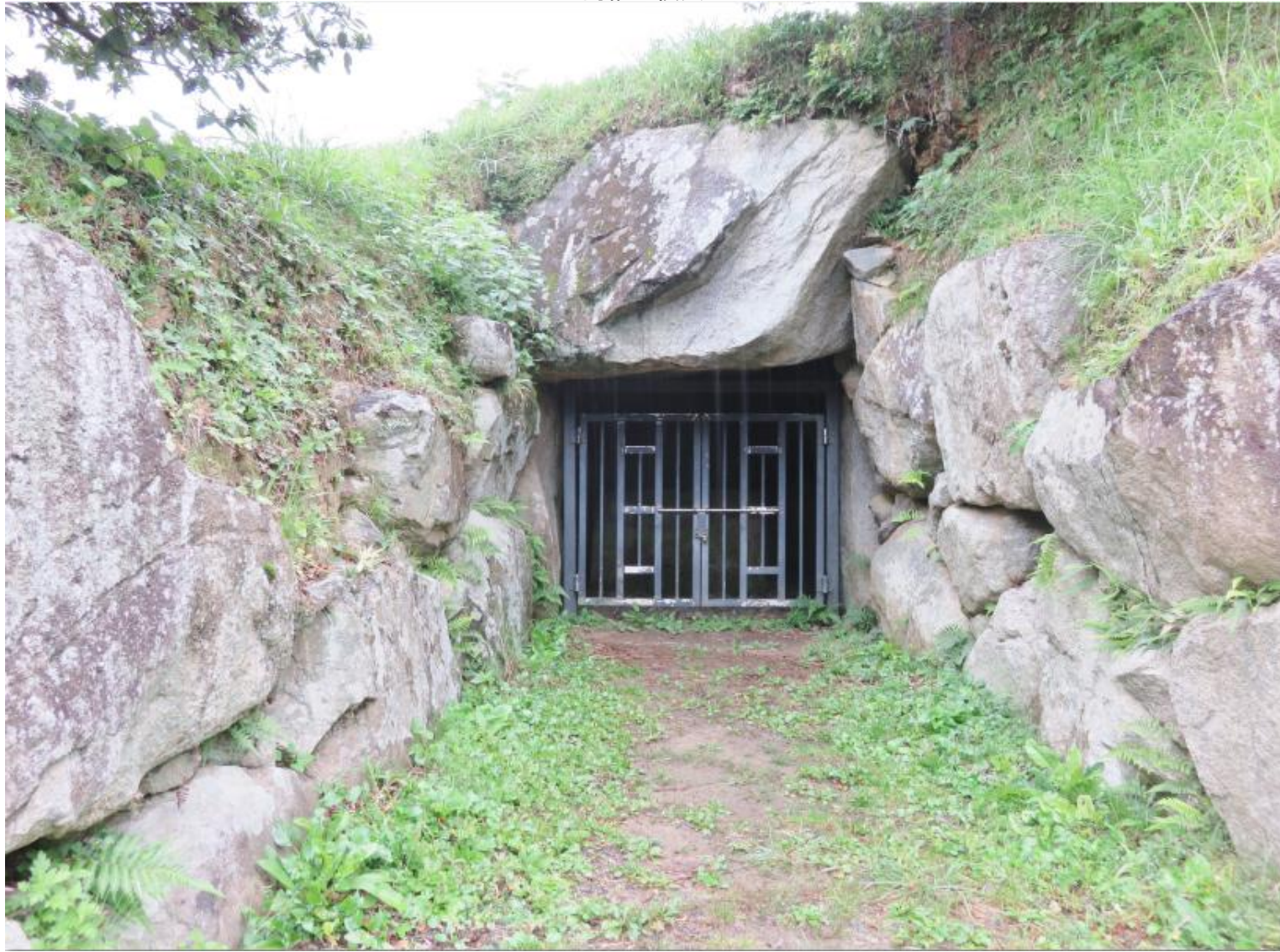
あすかなびQRコード

<http://www.kitemite.me/asuka>



日本語
English
한국어
简体中文

これが両袖式横穴式石室



6個の縄掛式突起を持つ割貫式家形石棺が納められている/被葬者は蘇我稲目とも云われる



床面にはバラスが敷かれており、暗渠排水溝が設けられている



東側から見たところ



西側から見たところ



少し退いて見たところ



参考ホームページ

<http://massneko.hatenablog.com/entry/2016/12/10/183000>

https://tocana.jp/2014/08/post_4730_entry.html

<https://syoki-kaimei.blog.so-net.ne.jp/2017-06-01>

<https://ameblo.jp/keith4862/entry-12415634879.html>

https://74589594.at.webry.info/201501/article_1.html

<http://sakuwa.com/yw274.html>

